

令和 8 年度 地域連携推進会議 報告書

1. 会議概要

- ・ 開催日時: 令和 8 年 7 月 7 日 13:30 ～ 14:25
- ・ 場所: 支援センター中
- ・ 出席者: 鎌田所長（司会）、浅田（記録）、石田サービス管理責任者、大庭生活支援員
 - S.S.委員（町会長）
 - S.Z.委員（町会副会長）
 - A.A.委員（計画相談支援員）
 - T.U.委員（後見人・家族をよく知る）
 - S.S.委員（ホーム利用者）

2. 事業概況および利用者状況

現在、3 つのグループホームで計 14 名が生活しています。

- ・ ひだまりホーム: 6 名（男性 4、女性 2 / 空き 1）
- ・ しょうじホーム: 5 名（男性 2、女性 2 / 空き 1）
- ・ さとホーム: 3 名（男性 3 / 満床）
- ・ 勤務体制: 今年度より、各ホーム夜間 23:00 まで支援を行う新体制へ移行し、夕方から翌朝までの泊まり世話人を配置しています。

3. 令和 7 年度 利用者満足度調査結果

12 名の利用者全員から回答を得ており、**全体的な満足度は 100%（全員が「よいところ」と評価）**でした。

- ・ 強み: 「食事」（10.5 名満足）、「プライバシーの保護」（12 名満足）、「説明と同意」（10.5 名満足）が特に高く評価されています。
- ・ 改善点: 「スタッフによって言うことが違う」「言い方がきつい場合がある」との指摘があり、今後 OJT や人権研修を通じて改善を図ります。
- ・ 個別のニーズ: 「壁紙を変えたい」「外出やカラオケの機会を増やしたい」といった要望があり、面談を通じて実現をサポートします。

4. 避難訓練報告（令和 6・7 年度）

「命を守る」をテーマに、最新の生存戦略（SRC）を取り入れた訓練を実施しました。

- **主な内容:** VR による煙体験、低姿勢での移動、および避難路が断たれた際の「閉じこもり作戦（ドアの隙間を埋めて煙を防ぐ）」の習得。
- **備蓄:** 保管場所の兼ね合いから、現在は 3 日分の非常食と飲料水を備蓄しています（厚労省推奨は 1 週間分）。

5. 委員からの主な意見・感想

- **カラオケの頻度について**
 - **S.S.委員:** 「カラオケの頻度はどのくらいか」
 - **ホームズ:** 「各ホーム年 2 回程度実施しているが、本人の金銭状況や勤務体制も考慮し検討したい」
 - **S.Z.委員:** 「他の施設では任天堂スイッチなども活用して楽しまっている。もう少し頻度を増やしてはどうか」
- **行事と取り組みについて**
 - **T.U.委員:** 「他の行事と合わせて、いろいろな取り組みをされていると感じた」
- **訓練の内容について**
 - **S.S.委員:** 「具体的にどのような訓練をするのか」
 - **ホームズ:** 「まずは取れる行動（低姿勢移動や一室への閉じこもり）を学ぶこと。消防隊が到着するまでの 5 分間を耐え抜くための訓練を行っている」

6. 地域連携および今後の予定

- **地域行事:** 7 月 25 日（中本町盆踊り）、9 月 27 日（中本町防災訓練）への協力・参加。
- **ホーム巡回:** 委員による各ホームの巡回を実施します。
 - さとホーム: 8 月 25 日 17:00 ～（**S.S.委員**、**S.Z.委員**）
 - ひだまりホーム: **T.U.委員**が検討中
 - しょうじホーム: **A.A.委員**が検討中